

会 議 録

会議名		平成27年度 第4回小金井市図書館協議会			
事務局		図書館			
開催日時		平成27年11月30日(月) 午後2時～午後4時			
開催場所		小金井市立図書館地階集会室			
出席者	委員	鴨下 万亀子 石田 静子 内田 美帆 田中 幸夫 船崎 尚 吉田 和夫 坂野 勝一 中里 成子 藤森 洋子			
	欠席者	神成 真一			
	事務局	山本教育長、西田生涯学習部長、上石館長、石原生涯学習課長 西村庶務係長、栗栖主事			
傍聴者の可否		可		傍聴者数	1
傍聴不可・一部不可の場合はその理由					
会議次第	<p>【次第】</p> <p>(1) 第14期図書館協議会委員委嘱 (2) 小金井市の図書館の概要について (3) その他</p> <p>【配布資料】</p> <p>(1) 小金井市図書館協議会条例 (2) 第14期小金井市図書館協議会委員名簿 (3) 小金井市の図書館 平成26年度版 (4) 小金井市図書館運営方針改訂版 (5) 第3次小金井市子ども読書活動推進計画(案)に対する意見募集 (6) 第3次小金井市生涯学習推進計画(案) (7) ようこそ小金井市立図書館へ (8) 平成26年度 事業のまとめ(小金井市公民館) (9) 月刊こうみんかんNo.450、451、452</p>				

平成27年11月30日

【上石館長】 こんにちは。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私、図書館長の上石と申します。会議が実質的に始まるまで、議事進行をさせていただきますので、議事が始まりましたら交代させていただきますが、それまでよろしく願いいたします。

本日は、第14期図書館協議会最初の会議でございますので、会議に入る前にいくつかの確認をさせていただきたいと思います。

まずは、会議録作成用に録音させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【上石館長】 では次に、配付資料を確認させていただきます。

【西村庶務係長】 庶務係長の西村です。よろしく願いいたします。

(事前送付資料、当日配布資料確認) おそろいでしょうか。以上でございます。

【上石館長】 では、これから次第に沿いまして順次進めさせていただきます。

まず初めに、教育長山本修司より、図書館協議会第14期の委員になられた方々への委嘱状の交付をいたしたいと思います。任期につきましては、平成27年11月1日から平成29年10月31日までの2年間となっております。本日配付いたしました名簿の順番にお名前をお呼びいたしますので、教育長がお席までお伺いいたします。そうしましたらお立ちいただくようお願いいたします。

なお、名簿につきましては、小金井市図書館協議会条例で定められている区分の順で、また同一の区分の場合は、五十音順で作成させていただいておりますのでご了承ください。

本日、神成委員からご欠席というご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

では、1番目の鴨下万亀子さんからよろしくお願いいたします。

(委嘱状交付)

【上石館長】 ありがとうございます。今日ご欠席の神成委員には、別途送付させていただきます。では、教育長から挨拶をさせていただきます。

【山本教育長】 皆さん、こんにちは。教育長の山本でございます。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、ただいま委嘱状を交付させていただきました。2年間にわたって第14期小金井市図書館協議会を担っていただくこととなりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

図書館では今、皆様のお手元に配付させていただきました資料のとおり、本市の生涯学

習の拠点、そして地域の文化の拠点として、図書館サービスの実践に、向上に努めているところではあります。

要望、それから議会等々、図書館につきましてはたくさんのご意見を市民の方から今いただいているところです。来ていただいておわかりのとおり、老朽化した施設の問題、今後どのように中央図書館を建設していくのか、また運営をどういうふうにしていくのかという大きな問題を抱えております。

私も勉強しなければならないと思ひまして、今年の夏から、武雄図書館、伊万里図書館、日本一の来館者数を誇っているという岡山県立図書館、それから話題の山梨県立図書館。この近辺では飯能市の子ども図書館と、飯能市の市立図書館、それから長野県小布施町の図書館等々、できるだけ時間をとって見学をさせてもらっております。

そこで見ているのは、単に新しい施設ということだけではなくて、どのような機能を図書館が発揮しているのか。ただ単に本を貸すだけではなくて、子ども達や市民の方々の成長の場、それから赤ちゃん等を含めた子育ての場、中学生、高校生にとっては勉強・研究の場。それから公民館の集会施設等とも合同の活動をしながら、交流・発信の場としての機能も果たしているということがよくわかりました。

本市は財政上の問題がありまして、まだ具体的に新しい図書館をどこに、いつ頃、どういう規模で作るかということとは明らかになっていませんけれども、ぜひこの小金井の図書館協議会の皆様にもお知恵を出していただいて、そういう話題を活発に議論していただくこともあるかと思ひます。本市の図書館は、この中央図書館を中心にして、東分室、緑分室、そして昨年、新しく貫井北分室ができました。それぞれが一生懸命運営しながら、図書館サービスの向上・拡大に努めているところです。

昨年は、貫井北分室の開館とともに、今年度、東センターをNPOの委託ということで、運営の形態を変えさせていただきました。その折にも、13期の図書館協議会の方々に大変貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げたいと思ひます。

本市の図書館の運営、サービスの拡大についてはまだまだ大きな課題があります。しかしながら、ぜひ皆様方に協議をしていただいて、より良い図書館づくりをともに目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ですけれども、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございました。

次に、今日初めてでございますので、委員の皆様の自己紹介という形をお願いしてよろしいでしょうか。名簿順ということで、また先程の委嘱状交付と同じ順番で、鴨下委員からよろしくお願いいたします。

【鴨下委員】 鴨下でございます。初めて図書館協議会委員になりまして、かないまし

た。私は、社会教育関係団体の代表となっていますが、小金井文庫連で「ごうちぶんこ
ことりのへや」という文庫活動を行っています。そこから推薦ということで今回ならせ
ていただきました。

住まいはすぐそばで、小金井神社へ行く途中です。ですからこの中央図書館は良く利用
させていただいております。私は小金井の図書館が大好きでたくさん利用させていただい
ているんですけども、その分、お願いしたいことがたくさんあり、とてもいい機会を与
えていただいたと思っております。よろしく願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。では、内田委員、お願いします。

【内田委員】 内田美帆と申します。私は、市内の一小と二中に子どもが通っておりま
して、昨年度から一小のPTA本部をやっている関係で、PTA連合会から代表として出
させていただきました。

図書館については特に深い知識がある訳ではないですけども、私自身、生まれも育ち
も小金井で、学区もちょうどこの一小、二中学区に育ちました。学校自体は学芸大附属小
中学校に通っておりましたので、一小、二中に在籍ではなかったのですが、その分、私に
とって小金井の図書館の本館は子どもの頃から一番近い市の施設で、そういった環境で育
ちました。学校のお友達が近隣にいなかったということで、この図書館では本当によく1
人で時間を過ごさせていただきました。その分、非常に愛着もございませし、また自分が
親になってみて、子どももぜひ本に親しませたいと思い、幼少の頃は非常によく通いまし
てたくさん借りて読み聞かせもしたんですが、なぜか子ども自体は今、あまり本に慣れ親
しむ環境におらず、小金井図書館も正直古いこともあり、なかなか使いづらいというよう
な。ごめんなさい、申し上げにくいことを。

近隣ですと、きれいな武蔵野プレイスだとかにお友達と集っていくような、また北セン
ターができましたのでそちらを利用していることもありますけれども、やはり施設云々で
はなく、図書、本本来の意味を子ども達にもっと身近に感じて親しんでほしいなと思っ
ております。微力ながらそういったことで保護者の立場として参加させていただけたらあり
がたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【上石館長】 田中委員、お願いします。

【田中委員】 田中幸夫と申します。よろしくお願いいたします。

今回で2期目ということになりますが、私、現在、東京農工大学に勤めておりまして、
工学部はここの中町で非常に近いところに、実際に住まいも小金井市ですので30年ほど
住んでおります。全く小金井を知らない訳ではないんですけども、とはいえ、大学にお
りますと外へ出て小金井図書館に来るといのはあまりなかったんです。

前期から縁がありまして、このような協議会に委員としてやらせていただいて、いろん

な問題があるということはもう重々承知しておりますけれども、前の期でできなかった理想の図書館、すばらしい図書館の夢を描きたいなという課題は残っております。どこまで描けるのかわかりませんが、皆さんと一緒に何か楽しい、これがないからだめ、これがないからだめというのではなくて、こうやったらいけるんじゃないかというような、そういう会になっていったら、皆さんと話ができたら楽しいんじゃないかなと思っております。よろしく願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。では、船崎委員、お願いします。

【船崎委員】 船崎尚と申します。私も2期目です。隣の武蔵野市で20年近く図書館に勤務しておりまして、お隣だったものですからこちらの図書館長ともよくお会いしたり、私自身も利用者でそれこそ何度か既に利用させてもらっていました。

図書館というのは今、色々変化している時ですけれども、この変化に応じつつも、また基本的な図書館のイメージもちゃんと活かしてやっていくようにというふうに思っております。よろしく願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。吉田委員、お願いします。

【吉田委員】 皆さん、よろしく願いいたします。初めまして。

私は今、玉川大学に勤務しておりまして、教員養成の仕事をしております。国語の中学校教員でございまして、山本修司教育長の後輩に当たります。昔から山本先生には色々お世話になっており、最後は全日本中学校国語教育研究協議会の会長をしておりました。

ということで、私が今興味を持っているのは、学校と社会をつなげるということで、社会教育で学校と社会をどういうふうにつなげていくか、特に学校教育と社会教育のつながりみたいなものを、関係みたいなものを今考えてみたりだとか、今回は機会をいただきまして、小金井の図書館のことについて勉強させていただくとともに、何かいいご提案ができればなと思っております。

今図書館については話題が豊富で、たまたま今日の東京新聞を見ていたら、図書館の委託についての記事が載っておりました。私は住んでいるところが狛江でございまして小金井とはちょっと違うんですけども、同じように隣に調布という大きな図書館のセンターもありますので、そっちに専ら通っているような感じです。

隣はまた成城でございまして、これもまたやっぱりそっちに行ってしまうと、一体狛江のような小さいところはどうするのかな、と市民としては思うんですけども、住んでいると中々いろんなことはできません。ただ、今回機会をいただき、小金井は私が教育委員会に入る時に実習をしたところでございましてご縁がございまして、皆さんと一緒に考えていければなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。では、坂野委員、お願いします。

【坂野委員】 坂野勝一と申します。よろしくお願いいたします。

私は去年定年退職しまして、今東京都のボランティアの活動をやっています。今回、市民公募として応募しまして委員になりました。色々な立場から、色々な意見がありまして、小金井に住んで25年になりますけれども、その間、こちらから都心の会社へ通ったというところで色々利用させていただきましたが、加わってほしいなということがありますので、図書館本来の機能をもっと手軽にやって活かせる、身近な図書館にできるんじゃないかと思っております。

図書館の機能といいますと、私が考えているのは、図書を活用するということです。私は閉架に眠っているような図書を使ってもらおうという発想でいきたいと。ですから、小金井市のウェブに教育委員会のページがありまして、そこに図書館が載っておりますが、このタイトルはあれでいいんだろうかと思う点があります。これは利用者の立場から言いまして「お越しく下さい」だったんです。確かに、公民館とか文化財センターは「お越しく下さい」なんですけれども、図書館が出て行ってもいいんじゃないかと。このことは後でどこかで機会があれば議論したいと思います。

図書館法もそうです。たしか第1条の定義の中で、最後は施設か何かだと思いますけれども、かくかくする部分がある施設という話でしたし、それから今回応募するときの質問にも「図書館は要らないというような議論があるけど、どうだ」というふうな質問を投げかけられましたけれども、施設という観点をやめて、サービスだと。

そうすると、サービス業ですのでこちらから出ていくと。こういうものがありますよという補填、そういう観点からもっと身近なものになるのではないかと。こういう点を考えてしゃべり始めますと、おそらく1時間ぐらいずっとしゃべるぐらい、普段は色々頭の中は考えていまして、色々な議論の中で役に立つような形でご提示させていただければうれしいなと思っております。よろしくお願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。中里委員、よろしくお願いいたします。

【中里委員】 中里と申します。よろしくお願いいたします。

私、今までの皆様のお話を伺って、もう自分は何の専門知識もバックグラウンドもなく、本当に心細い限りでございます。唯一関連付けるとすれば、定年になるまで内閣府に勤務しておりました関係で、当時は総理府だったんですが、2年ごとに人事異動がありました。その中で国立公文書館に異動いたしました。当時はまだ独法になっておりませんが、そのときに江戸城の紅葉山文庫でありますとか、多聞櫓でありますとか、江戸時代の古文書等に非常に身近に触れた経験がございます。また、中国の漢籍等も興味深く接しておりました。

昔から読書自体はとても好きなものですから、高齢者の一人として、身近な小金井の図

書館が使い勝手のよいものになってほしいと思って応募した次第です。

どうぞよろしく願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。では、藤森委員、お願いいたします。

【藤森委員】 藤森と申します。よろしく願いいたします。

私も何も知識も経験もなく、ただ本が好きというだけで公募に応募させていただいて、仕事として本を作る、辞書とか百科事典とか、本を作る仕事をずっとやってきたんですけども、図書館というものをよく知らなかったのも、とても興味を持ちまして応募させていただきました。

皆さんに色々と教えていただきながら、特に興味があるのは子どもの本についてなんです。それができたら、何かのお役に立てればなと思って応募いたしましたので、よろしく願いいたします。

【上石館長】 ありがとうございます。では続きまして、事務局の職員の紹介をさせていただきます。

まず、先程ご挨拶をいただいた教育長の山本です。

【山本教育長】 よろしく願いします。

【上石館長】 右隣で、生涯学習部長の西田です。

【西田生涯学習部長】 よろしく願いいたします。

【上石館長】 次に、本日、後ほど報告事項3で議題に上がっております第3次小金井市生涯学習推進計画を所管している生涯学習課の石原です。

【石原生涯学習課長】 石原です。どうぞよろしく願いいたします。

【上石館長】 先程ご案内しました庶務係長の西村です。

【西村庶務係長】 西村です。よろしく願いいたします。

【上石館長】 事務局を担当しております庶務係の栗栖です。

【栗栖主事】 栗栖です。よろしく願いいたします。

【上石館長】 最後に私、図書館長の上石です。よろしく願いいたします。以上で事務局の自己紹介を終わらせていただきます。

ここで申し訳ございませんが、教育長と西田生涯学習部長は次の公務がございますので、誠に失礼ですが、退席させていただきます。

【山本教育長】 よろしく願いいたします。

【西田生涯学習部長】 お願いします。

(山本教育長・西田生涯学習部長 退席)

【上石館長】 それでは、これから次第に沿って議題に入っていきます。

その前に議事録の作成について確認をさせていただきたいと思います。市の会議につき

ましては、小金井市の市民参加条例というものがございまして、第6条の規定によって、原則公開となっております。また、同条例の規則第5条には、会議録の作成方法といたしまして3つございます。1つ目、全文記録、2つ目、発言者の発言内容ごとの要点記録、3つ目、会議内容の要点記録という中から選択するというふうに規定されております。本会議につきましては、これまでは全文記録にしております。事務局としても、引き続き全文記録ということで考えておりますが、これにご異議ございませんでしょうか。

【坂野委員】 固有名を挙げる場合、今の教育長も図書館名をいくつか挙げていらっしゃいましたけれども、それはそのまま載ることになりますか。要するに、いい方向でしゃべる分にはいいんですが、あの図書館はこういう問題がありますと発言したときに、固有名はいいか、それがごく一般の民間の組織でしゃべることが出てくるかと思うんですけれども、ぼやかすと皆さん、わからなくなると思うんです。ですから、その場ではしゃべりけれども、固有名を記録するときには、公表するときには伏せるということは可能ですか。

【上石館長】 少しお待ちください。

【石原生涯学習課長】 これは確認とってから出しているんですよ。

【上石館長】 そうです、はい。

【石原生涯学習課長】 会議録は、皆さんが発言した部分をご確認いただいた後に公表することとしておりますので、これは間違っと言ってしまったとか、言い過ぎの部分があったなという部分は、ご本人で削除していただいて、公表できる範囲で公表させていただくのが各審議会の通例かなと思っております。

【坂野委員】 では発言する前に、これは具体例でどうしても固有名は出しますけれども、これは削除していただきたいというふうに言えばよろしいということですね。

【上石館長】 そうですね、はい。

【坂野委員】 わかりました。

【上石館長】 ほかの方もご意見ございますでしょうか。

【田中委員】 聞きたいんですけれども、会議の要点記録ではいけないというのはあるんでしょうか。

【上石館長】 先程言った3つの中から選んでいただくというのが原則でございますので、皆様が、私どもは今まで全文記録でやっていたということで、ただし、要点記録がいいとなれば、それはこの会議の方向ということで決めますが。

【坂野委員】 その場合は、どなたが要点を作られるんですか。

【上石館長】 テープ書き起こしを業者に委託するんですけれども、それをまたこちらのでまとめることとなります。それで今、市民参加条例というのを、皆さん、市民の方に公表することが基本ですので、なるべく多くの情報を出すということで、各審議会

ほとんどが全文記録という方向になっています。

ただし、先程生涯学習課長が言ったように、皆様に一旦校正をかけますので、その時に手直しする機会があります。

【石原生涯学習課長】 補足ですけれども、要点記録の例とすると、土地の権利を審議会等で決定するような個人の財産とか、そういったものに関するような審議会においては、細かく誰の土地をどうするというを公表しかねるので、そういったことについては、結論的などころだけを表記するような要点記録が多いのかなというふうになってございまして、審議会が扱う案件がそういった個人の財産とか、個人情報に関するようなものが多いような場合はそうなるんでしょうけれども、審議会の性質によってどういう記録をつくるかは選択していくべきかと思います。

【吉田委員】 様々な審議会の中で色々経験した中においては、傍聴を可としているところについては、全て、全文記録になるんでしょうか、一般的には。

【石原生涯学習課長】 それはもちろん言ったことについて文書になってしまいますので、その部分をちょっと直すということは、今おっしゃったように、そうするとそこは隠すか、ぼかすとかというのは、それは間違いはないんですが、基本的に傍聴が可能なものについては、ある程度公開になっています。

【上石館長】 ありがとうございます。では、こちらの会議録は、全文記録ということでよろしく願いいたします。そうしましたら、記録上、録音しておりますが、皆様、発言の前には必ずお名前をおっしゃっていただくようお願いいたします。

それでは、これから本日の議事に入ります。

本日は、第14期図書館協議会の初会議でございますので、まだ会長が決まっておりません。そこで私が、決まるまでの間、司会進行を務めさせていただきます。

では早速、議題1の協議会会長互選及び職務代理指名について決めたいと思います。

会長につきましては、小金井市図書館協議会条例第5条2項の規定により、委員の互選によって定めとなっております。したがって、互選の方法につきましては、指名推薦により行いたいと思いますが、いかがでしょうか。ご異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【上石館長】 そうしましたら、指名推薦で、どなたか適任と思われる方をご推薦いただきたいのですが、よろしいでしょうか。

【船崎委員】 田中委員を推薦したいと存じます。田中委員は、先程自己紹介でございましたように、東京農工大学の教授をなさっております。専門は健康科学の先生ですが、生涯学習にも非常に造詣が深く、それに何と申しましても、前期の13期でも会長をしていただきまして、まさに適任であり、また今期もぜひ引き続き会長をお願いしたいと思

推薦させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【上石館長】 それでは田中委員を会長にという推薦がございました。いかがでしょうか。ご異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【上石館長】 ご異議なしということで、田中会長を選出することに決定いたしました。ありがとうございます。

では田中会長は、お席を会長席に移動していただいて、よろしくお願いいたします。

どうもありがとうございました。それでは会長が選出されましたので、これから会長の進行ですが、その前に、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

【田中会長】 どうも、田中です。今回会長に推薦していただきまして、拝命することになりました。いろんな問題が山積みしているということは認識しており、先程言いましたけれども、ないないづくしで閉塞感があるところであります。そこから何かを打開していただいて、皆さんのお知恵をいただいて、そして市民の意見と、行政側の意見と、皆様の意見とうまくマッチできますように、そして前に進められるような協議会にしていきたいと思っております。忌憚のない意見をどんどん出し合って、前に進められるように会を進行していければなと思っております。

皆さんのご協力がなければ進まないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

【上石館長】 ありがとうございます。それでは、これより田中会長に司会進行をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

【田中会長】 では、次第に沿って進めていきたいと思っておりますけれども、最初に、職務代理者の指名をするんですね。

【上石館長】 はい、お願いします。

【田中会長】 それでは、私が不在のときに職務を代行していただくということで、一般市民公募の方で2期目の藤森洋子さんをお願いしたいと思うんですけれども、よろしいでしょうか。藤森さん、よろしいでしょうか。

【藤森委員】 はい。

【田中会長】 では、藤森さんが職務代理者ということですので、よろしくお願いいたします。

【上石館長】 藤森委員、お席の移動をお願いします。

【藤森委員】 藤森洋子と申します。職務代理を仰せつかりまして、皆さんのような立派な方々を差しおいて、私に何ができるのかと不安でいっぱいですが、会長、皆様のお力をお借りして精いっぱい務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【田中会長】 それでは、議題の1番目が終わりましたので、議題（2）になりますけれども、小金井市の図書館の概要についてということで、これは事務局から説明をいたします。

【上石館長】 では、小金井市の図書館の概要説明ということで、今期初めての方がいらっしゃると思います。13期の方には復習という形でお願いいたします。

小金井市の図書館、こちらの水色の平成26年度版を送付させていただきましたが、こちらに概略を書いてございます。簡単に図書館のあゆみ等主だったところ、あと図書館協議会、今までこんなことをしていたという部分ですが、ピックアップしてご説明させていただきます。

昭和39年8月、小金井市立小金井第一小学校の校舎に図書館が開館しております。1つの教室を間借りしての開館だったようです。昭和50年10月、現在のこの本館がこの場所に開館いたしました。それも小金井第一小学校の校庭をお借りして建てたという建物になってございます。

続いて昭和62年4月に、移動図書館車「あおぞら」という名前をつけて開始しております。中央線の北側は図書館施設が全くなかったため、そちらの空白地帯を補完するというで、車で始めた事業です。

昭和62年7月、電算システムが稼働しました。三多摩地域では比較的早い段階で取り入れております。

昭和63年2月には、前原町西之台会館内に西之台会館図書室を開設しました。こちらにつきましては、今で言うコミュニティ文化課の施設でございますが、そちらの一室をお借りして開設しております。

続きまして、昭和63年10月には、東センター内に図書館東分室を開設しました。市内で初めての分室です。ここもセンターの中の公民館と併設という施設でございます。

平成元年6月、第1期小金井市図書館協議会委員を任命しております。それから2年ごとに改選をし、今年が14期です。

平成元年12月には、小金井市立図書館の運営方針を策定しました。この運営方針はお手元にも配付させていただいておりますが、小金井の図書館の理念になっております。

平成3年10月に、緑センター内に図書館の緑分室を開設しました。こちらも公民館と併設の施設でございます。

平成5年10月、移動図書館「あおぞら」を移動図書館車専用車によるサービスに切り替えました。先程の昭和62年4月の移動図書館というのは、図書館の専用ではなくて、軽トラックで配本しておりましたので、専用の書架等がついてないものでしたけれども、トラックを購入し、リースの専用車によるサービスに切り替えております。

平成12年3月、図書館協議会から「小金井市のこれからの図書館について」答申及び提言をいただいております。

平成16年3月、小金井市子ども読書活動推進計画の策定をいたしました。これは平成13年に子どもの読書活動の推進に関する法律が施行されましたので、図書館が中心となって策定したものでございます。

平成17年6月、図書館協議会から「図書館運営体制等の見直しについて」答申をいただいております。

平成18年2月、東京農工大学と相互協力に関する協定書を締結いたしました。ほかの大学図書館の場合、図書館資料は閲覧することはできても、貸し出しはできないことが多かった時代ですが、それを貸し出していただけるという画期的な内容の協定書になっております。

平成19年5月、本館に別館を開館しました。今入ってこられた建物の横の駐輪場の2階になりますが、団体利用と個人利用ということで利用いただいております。

平成21年5月、第2次小金井市子ども読書活動推進計画を策定しました。

平成21年7月に、図書館協議会から「図書館運営体制の見直しについて」答申をいただいております。

平成21年10月、府中市と図書館相互利用の協定を結び、府中市の図書館から図書資料の貸し出しを受けられるようになりました。市民からの要望が非常に多かったので、実現できて良かったと思っております。

平成25年7月、図書館協議会から「(仮称)貫井北町地域センター図書館分室の運営体制について」の答申をいただきました。貫井北分室の運営に当たってNPO法人に委託し、サービスの拡大を図る上での配慮、19項目のご意見をいただきました。

平成26年4月、市内で3番目の分室、貫井北分室が開館しました。平成3年に緑分室を開館してから約23年ぶりに開館し、利用がとて多く喜ばれている施設となっております。

平成26年12月、図書館協議会から「図書館サービスの見直しについて」答申をいただきました。東分室を委託すること、移動図書館車の運行を廃止すること、西之台会館図書室の拡充について。この3点につきまして配慮、留意すべき事項等の意見をいただいております。

平成27年3月、移動図書館車運行廃止となっております。

平成26年度までのあゆみです。超スピードで申し上げましたが、以上です。

次に7ページをご覧くださいませでしょうか。図書館の概要、機構が載っております。まず、図書館は教育委員会の所管になっております。教育委員会には、生涯学習部とだけ

書いてありますが、ほかに学校教育部がございまして、2つの部があります。図書館は生涯学習部に所属しており、右のほうに図書館と書いてございます。

その下に図書館の機構が書いてありますのでご覧ください。現在は、東分室を事業委託しておりまして、移動図書館車は運行を廃止してございますが、26年度まではこの体制でやっておりました。

職員数が書いてございまして、括弧の中に数字が入ってございますが、こちらは司書の有資格者の人数が入っています。正規職員の中で有資格者につきましては4名と少ない状態になっております。これに対して、非常勤嘱託職員、本館で言いますと18人いますが、こちらは全員が司書有資格者になっております。

事務分掌等載っておりますが、ご覧いただいて、8ページをご覧ください。

施設です。まず本館の面積が全部で1,834.35平米となっております。こちらは、もう皆さんご存じかと思いますが、他市の図書館に比べてかなり狭い施設になっております。先程申し上げたとおり、昭和50年に開館しましたのでかなり老朽化しておりまして、ひび割れとか雨漏りとか色々不具合が出ております。

時間の関係もございまして、ご希望の方がいらっしゃいましたら、今日は休館日でございますので、館内をゆっくりとご案内させていただきたいと思っておりますので、もしお時間ありましたらどうぞよろしく願いいたします。

9ページからは配架図等が書いてあります。

続きまして11ページ、分室の紹介です。先程申し上げましたとおり、公民館との併設になっております。東分室、緑分室、貫井北分室です。ご覧ください。

続きまして12ページ、西之台会館図書室のご案内をしてあります。本日配付資料の「ようこそ小金井市立図書館へ」という、小さなパンフレットの後ろに各館のご案内がございまして、平成26年度の東分室と緑分室の開館時間等が、今はこちらになっています。

開館時間を27年度、西之台については4月から、東分室については8月から拡大しておりますのでご覧ください。

では、また「小金井市の図書館」に戻ります。

17ページ、図書館マップということで小さな地図が載っております。

施設と、図書館の返却ポスト（ブックポスト）がございまして、そちらの位置を載せてございます。

小金井の図書館の特徴としましては、この返却ポストが多いということが挙げられるかと思っております。市内の各所に9カ所と、ほかに図書館施設、建物付けがございまして、武蔵小金井駅ですと南北、東小金井駅も南北と、あとは廃止した移動図書館車のステーションの近くということでブックポストがございまして。

次に、19ページです。こちらは図書館協議会の説明になってございまして、定例会の回数は通常3回となっておりますが、こちらは諮問させていただいたり、また課題を抱えていますので、平成26年度は回数を8回とさせていただきました。13期の皆様には大変ご苦勞をおかけしまして、ありがとうございました。

20ページ、図書館サービスの現況です。時間の関係もありますので、こちらはお読みいただいていると思いますが、少し補足させていただく点に留めさせていただきます。

21ページ、(2)サービスの貸出のところですが、小金井市の図書館は誰でもが使っていただきたいということで居住の制限を設けておりません。通常、どこの図書館でも多くが在住、在学、在勤という制限がありますが、小金井市の場合はどうなっても、ということでそういった制限を設けておりません。そして貸し出し期間が通常2週間という図書館が多いかと思いますが、3週間、なおかつ冊数の制限は設けていません。お好きなだけ、期間内という前提ですが、期間内であれば冊数制限を設けていませんのでお好きなだけお借りになれる、これも一つ特徴です。

22ページ、児童サービスです。こちらは幅広いサービスをしているところですが、おはなし会につきましては、こちらにも書いてございますが、ボランティアグループにもご協力をいただき、行っているサービスでございます。エの小金井市子ども読書活動推進計画の策定ですが、こちらは後ほど、また報告事項で第3次の計画を策定しておりまして、そちらで説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

23ページの7番、ヤング・アダルトサービスです。中学生、高校生になると読書離れが進んでしまうということで、何かしら手を打たないといけないということで考えています。本館でいいますと、2階のロビーにコーナーを設けておりまして、中高生の興味を引くような雑誌等をそろえております。あと、特徴的には、貫井北分室では「KITAMA CHIユース」といったお便りを出したり、ノートを置いたりといったことをしてございます。また、公民館と併設ということで、公民館と連携事業でヤング・アダルトサービスを実施しているといったところがございます。

23ページの11番、大学図書館との連携です。東京経済大学と東京農工大学については、図書の貸し出しが受けられるサービスをいただいておりますが、このたび、東京農工大学とは今年の8月1日に協定の内容を変更ということで、農学部、府中図書館へも直接行って借りることができる協定を結びました。これは田中会長が東京農工大学の先生ということでご尽力いただきまして、今まで府中校舎の図書は小金井校舎で取り寄せて借りるということはやってましたが、農工大学府中図書館を直接利用できることになったのが8月1日からでした。

24ページです。12番の図書館相互利用です。こちらは平成6年から、武蔵野市、三

鷹市、西東京市とはやっております。平成21年、先程もあゆみのところで言いましたが、府中市と相互利用ができております。ただ、近隣市の国分寺市と小平市が、まだ相互利用ができていないということで、これにつきましては今後も引き続き私共で努力して行って、いずれは国分寺市、小平市とも相互利用ができるといいなと思っているところです。

最後に16番、ホームページです。今年5月に図書館システムを入れ替えましたので、ホームページもリニューアルしたところですが、情報発信できていることはまだ少ないなと思っているので、これからどんどん活用した情報発信ができれば、努力しなくてはと思っています。あと、図書館協議会のコーナーもありますので、そちらをクリックしていただくと、先程申し上げた協議会の会議録とか、あと、協議会から今までいただいた答申等も載せてございます。まだご覧になっていない委員がおられましたら、ホームページをのぞいてみてください。

25ページからは統計類です。今日は時間の関係もありますので、こちらはご覧になっていただくということで割愛させていただきます。

以上で小金井市の図書館の概要説明を終わります。

【田中会長】 ありがとうございます。今、館長から図書館の概要について何十年か分を言っていただきましたけど、何かご質問やご意見等がございましたら。

【坂野委員】 飛ばされた統計の点で、今お答えいただかなくて結構ですが、いくつか質問があります。

1つは、登録者、利用者において、年齢別分類が可能かどうか1点目。

それから、レファレンスサービスの件数、これは小金井の今年6月の議事録を見ると、西田部長でしたでしょうか、174件とお答えしているんですが、かなり少ないように思いますので、このレファレンス件数がわかりましたら、推移とともにお教えいただきたい。

それから、3つ目、32ページの7番、夜間開館で、この統計ですが5年度に渡っています。この貸出冊数を開館日数で割ると、ずっと減っています。しかも、初年度と26年度を比べると23%減っています。この減少をどのように分析されているか。この3点をお教えいただいたら、後々議論するときに統計上重要になりますので、今日でなくても結構です、お教えいただければと思います。

【上石館長】 今、3ついただきました。登録者の年齢別、レファレンス件数のこと、夜間開館の推移について。こちらは、また後で日程等をご連絡するんですけど、1月末に次回開催できたらと思ってございますので、その時で大丈夫でしょうか。

【坂野委員】 結構です。

【上石館長】 わかりました。そろえます。ありがとうございます。

【田中会長】 そのほか、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、今、質問があった件につきましては、次回までに資料をそろえていただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、図書館の概要について質問がないようですので、(3)その他に移りたいと思っておりますけれども、その他、図書館側から何かございますでしょうか。

【上石館長】 特にございません。

【田中会長】 それでは続きまして、3、報告事項に参りたいと思います。(1)平成27年第4回市議会定例会報告について、それでは図書館からお願いいたします。

【上石館長】 では、平成27年第4回小金井市議会定例会について報告させていただきます。図書館に関係する部分のみの報告になりますのでご承知おきください。

今定例会は12月の市長選の関係で、例年より1カ月早い開催となっております。会期が11月2日から24日まででした。2件ほど報告させていただきます。

1件目は陳情がございました。11月10日の厚生文教委員会で審議を行った陳情の内容を申し上げます。「公立図書館における青少年の健全たる育成等を阻害する図書の排除を求める」というものでした。こちらは私から、図書館は図書館法により「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と定められていて、文化を後世に伝え、市民の知る権利、学ぶ権利を保障し、市民と資料を身近に結びつけるものとして存在しています、という答弁と、陳情者のご趣旨は、青少年の健全たる育成を望んでいらっしゃるということは理解しているところですので、これまでも図書館では、図書館運営方針に基づいて、図書の選書につきましては選書会議で十分にかつ慎重に検討して、適正に業務を遂行してきたこと、そして、今後も適正に業務を遂行していくつもりです、ということをお答えしております。

委員からは選書についての質問がありましたけれども、選書基準や、こちらの陳情者の言われている有害図書と言われる部分につきましては、東京都の条例等を説明し、ご理解をいただいたと思っております。審議の結果は不採択となっており、この陳情は、また本会議でも不採択となっております。

次に、補正予算というものを出示しております。平成27年度の予算で不足が見込まれる光熱水費、電気代を計上しております。これについては可決をされております。

以上、2件が第4回定例会で図書館部分に関することの報告になります。

【田中会長】 ただいまの、市議会定例会報告について何かご質問等ございましたらお願いいたします。

【船崎委員】 今の陳情の件ですが、陳情者は具体的に書名等を挙げて、例えばこうい

う本が入っているけどどうこうと、そういう形ですか。

【上石館長】 陳情書には一切書名等が入っていなかったもので。

【船崎委員】 そうですか。

【上石館長】 先程言った有害図書、不健全図書といったものだろうということで、一般的なお答えをしております。

【船崎委員】 わかりました。

【上石館長】 当初、陳情者は発言予定だったんですけど、当日いらっしゃらなかったために、書面だけの対応になっております。

【船崎委員】 はい。結構です。

【田中会長】 そのほか何かございますか。では、ないようですので、議会の定例会報告については、2件報告をしましたということで。

続きまして、(2)第3次小金井市子ども読書活動推進計画(案)に対する意見募集について。それでは、図書館側からお願いいたします。

【上石館長】 資料をご覧になってください。第3次小金井市子ども読書活動推進計画(案)に対する意見募集についてご報告いたします。いわゆるパブリックコメントというものでございます。

小金井市では平成16年度から、子ども読書活動推進計画を作っております。平成16年から平成20年度までを第1次、21年度から平成27年度までを第2次として取り組んできました。このたび第3次(案)を策定いたしましたので、こちらを小金井市市民参加条例第15条の規定に基づいて、市民の皆様の意見を募集しているところでございます。

ここで、初めての委員もおられますので、この計画を説明させていただきます。

1ページめくっていただきますと計画の概要ということで載っております。この概要をご覧いただきたいんですけど、この計画案はどのようにできたかということを申し上げますと、子どもの読書に関する関係課、図書館とそのほか10課の課長職でつくる庁内検討会というのがございます。そのほかに作業部会がございまして、そちらで検討を重ねていきまして、前期の13期の図書館協議会の委員の方々、また教育委員会にもお諮りして、この案はできています。今後14期、皆様方にもパブリックコメント終了後に協議会を開催させていただいて、そこでお諮りしていきたいと考えておりますので、こちらをご覧になってください。

パブリックコメントの期間が、11月20日から開始してございまして、27年12月20日の日曜日までの1カ月間を予定し、現在受付中でございます。検討結果については、2月下旬ごろに公表をする予定です。そのために、その前段階で協議会委員にお諮りする

という段取りになっております。そして、この計画につきましては、市民説明会を来月の12月10日に1回開催させていただき予定しております。この説明会で出していただいた意見についても、パブリックコメントと同様に扱いたいと考えておまして、今、説明会の準備を進めているところです。

報告は以上になります。

【田中会長】 ありがとうございます。今ここで、何かこれに対してというのも、初めての方はなかなか大変かとは思いますが、何かお聞きしておきたいことがありましたらご発言をお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、この案件に関しては、パブリックコメントが終わって、その後にこの協議会で推進計画について話があるということですのでよろしいですね。ではこの報告を終わらせたいと思います。

続きまして、(3)第3次小金井市生涯学習推進計画(案)についてご説明をお願いいたします。

【石原生涯学習課長】 第3次小金井市生涯学習推進計画につきましては、前13期の図書館協議会の皆様に第2次生涯学習推進計画に関する評価をしていただくことをお願いいたしまして、各施策の評価をいただいたところでございます。今回、1期目の方もいらっしゃいますので、私で簡単に取りまとめた評価のご意見を申し上げさせていただきます。

図書館の事業について、広報をもう少し充実させて、よりきめ細かく情報が伝わっていくようにするべきであるとか、あるいは昨今のICTの環境整備等も進んできてございますので、そういった新たな情報ツールも使って図書館のサービスを充実させていくべきであるとか、あるいは、中学生、高校生を対象として、語り部の養成をするといった、自主的な学習活動に関する支援の循環のようなご提言もいただきました。

それから、障がい者サービスに関して、ボランティア活動等とのつながりも考えていくべきであるとか、高齢化社会に対応した施策についても充実をしていくべきというご意見もいただいたものと受け止めてございます。

そういった中で生涯学習推進計画につきましては、従来、特に施策に重点的なものを設けずに、施策の一覧という形で生涯学習推進計画を策定していたところでございますが、第3次生涯学習推進計画につきましては、新たな試みといたしまして、重点プロジェクトという章を設けました。

こちらが、23ページ以降のところ和重点プロジェクトという施策の展開の章を設けまして、こちらで図書館協議会以外から、公民館運営審議会や社会教育関係団体からも評価をいただいているところでございまして、そういったご意見も参考とさせていただき、情報の発信の充実というものを重点プロジェクトの第1番に掲げていったりといったことで

すとか、重点プロジェクト3、25ページのところでは、図書館の施設運営や施設のあり方等について、大まかな方向性について触れさせていただいたり、26、27ページにかけては、高齢者の問題等も生涯学習全般として取り組んでいくべきであると書いてございます。

図書館に関するところがございますと32ページ以降に、各生涯学習全般に対する施策の一覧が掲載されてございます。この中に図書館に関する事業も数多く記載されてございますので、後程参考にご覧いただければと思います。

こちらは社会教育委員の会議を中心に計画の策定を進めさせていただいてございますが、図書館協議会の皆様には、協議会としてまとまったご意見をいただく機会というのが次は1月末の開催と聞いてございます。パブリックコメント期間としては12月9日から1月8日までを考えているところでございます。

甚だ失礼ではございますが、個別に委員の方からご意見がございましたら、ご意見票に図書館協議会の委員名をご記載の上、ファクシミリ等で生涯学習課宛にお送りいただければ幸いに存じます。

説明は以上でございます。

【田中会長】 ありがとうございます。ただいま第3次小金井市生涯学習推進計画(案)についてご説明がありましたけれども、ご質問等ございましたらお願いいたします。

【鴨下委員】 生涯学習の重点施策が10点挙げられていますが、図書館については独立した項目がなく、全国的にも図書館活動を起点にして、色々な地域の活動を起こしていくということが大きく取り沙汰されていますよね。ですからぜひ、この重点の一つに図書館という項目を挙げて、ここで検討する機会を作っていただきたいなと思います。

やはり、こういう重点になれば、いくら図書館を活発にしていってとか教育長が色々話をしていても、ここに載っていないければ、それは実施されないのではと思うんです。私は今年が1期目でよくわからないんですが、でも、やはり重点の中に図書館は入れていただく項目ではないかなと思います。よろしくお願いいたします。

【石原生涯学習課長】 今の直接的なお答えにはならないかもしれませんが、公民館につきましても、公民館運営審議会ではこれからの公民館のあり方を検討するというお話も伺っています。

社会教育委員の中で図書館のことについてどれほど個別的に取り上げてよいのかなというところもございますので、そこは図書館協議会委員からご意見をお寄せいただければ、社会教育委員の会議の中で検討させていただきたいと思います。

【石田委員】 質問していいですか。そうしますと、重点プロジェクト1、2、3とありますが、その中に図書館運営についてとかという項目もあったほうがいいという…。

【鴨下委員】 そうですね。図書館を活かした生涯学習の支援という形です。

【坂野委員】 私は鴨下さんの意見に賛成です。今、生涯学習課長がおっしゃったことはわかりますけれども、そうすると、我々がここで図書館の協議をしているものが公民館全体として受け入れられないとか、我々の視野の中に公民館も入れなきゃならないということになると、やはり、図書館本来の機能というのを譲ってしまうことになる。

図書館としてはこういうふうにやりたいというのをここで議論したいですし、そのためにも鴨下さんがおっしゃったように、図書館というのは生涯教育の中心になるものですから、1つ項目を立てておく業務もしやすいですし、それから、そこに書かれることが皆さんによりわかりやすくなる。それを公民館と同じようにしてしまうと、ちょっとぼやけてしまう、あるいは制約がかかってしまう、予算に関わってしまう、あるいは、逆に図書館の予算をとられてしまうということになりかねませんので、私は個人的には鴨下さんのおっしゃるように分けていただいたほうがいいなど。

それは絶対に必要だとは思いませんけど、そのほうがわかりやすい、議論しやすいと思っています。

【石田委員】 今、社会教育委員の会議で重点プロジェクトの協議をしているんですが、これからの図書館とかいう項目といった感じで入れてほしいとなると、例えばプロジェクト4が子どもの居場所づくりという項目について、図書館としての意見が必要になりますよね。それとも、生涯学習課に任せてしまって、図書館の意見として作って、ここに、例えばプロジェクト4があつて、プロジェクト6が人権尊重理念の普及ですよね、それが27ページですが、28ページになりますと国際交流の推進になります。それで、8がスポーツ・レクリエーションです。大まかな形でやっておりますので、こういうところに図書館としての意見ということを入れていくことになると、この前の文章ですよね。そうすると、私は社会教育の会議から来ていますので、こういう意見が出ましたという報告をしますが、この文章を、例えば今作っていて、2月でしたっけ。パブリックコメントが12月で1月ですよね。

【石原生涯学習課長】 そうですね。

【石田委員】 それで、次の1月の社会教育委員の会議でまとめなければいけない訳ですよ。

【石原生涯学習課長】 そうですね。

【石田委員】 そこに盛り込むためにはどうなりますか。盛り込めるかどうか。

【石原生涯学習課長】 今まで作ってきた経過も含めてご説明させていただきますと、この計画が、第2次のは平成21年度に策定されているんですけども、これが5年間の計画として作られたんですが、市の最上位計画である第4次基本構想・前期基本計画

というのは平成27年度で終了するので、そこまで生涯学習推進計画も延伸したという経緯がございまして、それで、延伸した目的として、最上位計画との整合をとるということ念頭に置きまして、こちらの重点プロジェクトも最上位計画に書かれているものから抽出しております。

それで、その中で書かれているものとする、図書館に関する部分は、図書館、公民館の今後のあり方というところが市の最上位計画の中に書き込みがあるので、その範囲で引用させていただいたところが現状でございまして、先程公民館と一緒にということもあったんですが、生涯学習課が公民館とはまた別の課になっていて、それで、生涯学習課はスポーツ施設とかも持っているんですけども、そういった施設についても、1つの施設だけを取り上げてという作りにはなっていないので、書き込みの中で項目を尊重していただいた中で、こういった部分を図書館として発信したいとかいうご意見でいただくと社会教育委員の会議としても取り組みやすいのかなと思います。

【田中会長】 ありがとうございます。

【石田委員】 すいません。もう少しよろしいでしょうか。

生涯学習の推進計画の中で図書館とか公民館とか分けていなくて、1つの学びなら学びを推進するという大きい項目の中に、いろんな講座を入れていまして、その講座が図書館に関係する、公民館に関係するというところで、利用率はどうか、横ばいか、上昇か、下降かという区別分けをしているんです。

ですから、今、社会教育委員の会議でも、いろんな事業を集約してまとめたらどうかという意見があるんですが、それは全体の推進計画も全部の課がまとまって色々やっている中に、また盛り込まなければいけないので、そこまでまだ実現ができかねていますよね。ですから、現状…。

【石原生涯学習課長】 今まではつくり方自体、公民館を充実しようとか、図書館を充実しようとか、体育館を充実しようとか個別の話で、あまり進んでこなかったのが、今までの議論の経過を積み重ねると、1つの方向性みたいな中に図書館施策が入っていたり、公民館施策が入っていたり、スポーツ施策が入っていたりというのが、ここまでの作り方の経過ですので、それに沿った中で充実すべき点を入れる意見をいただくと助かります。

【田中会長】 今、鴨下さんや皆さんのご意見を伺って思ったんですけど、個別の建物とか、図書館とかいう作りにはなっていないで、例えば、重点プロジェクトの3を見ますと、活動の場という作りになっていますから、そういうところに活動の場、図書館にも書いてあるんですけども、その図書館を知的な活動とか情報の発信の場にするんだということ充実して欲しいということもまず、ここに入れていただく。

今も入っていると思うんですけど、強調していただくというのと、その隣に子供の居場

所づくりというのがありますけど、図書館も子供の居場所づくりにも、あるいは、子供というのはヤングアダルトが入るかどうかわかりませんが、そういう作りになっているということですから、そういうところに入れ込んでいくことを、石田さんも書いているのもいいんですが、あるいは、意見書ですね。

これに書いていただいて、出して、それを取りまとめていただくというのがいかがでしょうかと思います。

【鴨下委員】 来てすぐで良くわからないんですけども、見た限りで、重点3のところに活動の場として、スポーツ、図書館、公民館とかがあって、その横に学びがあって、それから、高齢者の問題があってとなっていて、最後にまた、プロジェクト8のところにもスポーツ・レクリエーションというのがあって。

スポーツ・レクリエーションがここで取り上げられているのに、何で図書館は違うのかなど、そういう感想で思ったんですが。

それともう一つ、図書館というのは建物の問題じゃなくて、今、会長がおっしゃったように、図書館というものを活用して子供の居場所づくりもするし、高齢者の生きがいの発信の場にもするし、先程教育長がおっしゃっていましたが、ただ活用するだけでなくて発信、交流の場として、文化の中心の場として図書館というのを位置づけた、そういう施策というのを、どこかにぜひ盛り込んでいただきたいと常々思っているものですから、それをせっかく図書館協議会がありますので、ここで何かそういうものを発信して、生涯推進計画に盛り込んでいただければすばらしいかなと思った次第なんですけれども。

【田中会長】 もうちょっとプッシュしろという、何か弱いと。

【鴨下委員】 そうですね。建物の老朽化のことだけが書かれていて。

【石原生涯学習課長】 スポーツ・レクリエーションについては、後期基本計画の重点プロジェクトに複数入っているんですよ。そこを尊重したので、確かに2つになってしまうというのは、社会教育委員の中でも2つ要るか、という声もあるんですけども、上位計画の中にもあったので、提案として2つ出してみたというところです。

【鴨下委員】 そうですか。そういうところで持ち上げていただくと、図書館ももう少し意識化されるのではないかと思ったものですから。

【田中会長】 図書館自体がいろんな年代の人のいる場所でもあり、好奇心を満たすような場所でもあると思っています。

特に、高齢者の方といたら失礼ですけど、結構、朝から来ていらっしゃるので。ですから、本当にどこかにもうちょっとプッシュして、プロジェクトの中、半分ぐらいに書いてあるようにしていただければと思いますけれども。それぞれ高齢者に対しても、今、言われたことに対しても、子供に対しても、関わっている部分ではありますよね。確かにそ

ういう意味では寂しいかなぐらいの感じなので。

【内田委員】 私も今、鴨下さんのお話を聞いていたのと、あと、一番冒頭のご挨拶で山本教育長がおっしゃっていた、図書館という館のハード面ではなくて、図書館の活用についてぜひ考えて、というお話が非常に心に残りまして、建物云々よりも、前の方と重なってしまいますけれども、スポーツ・レクリエーション活動と、そういう別の動きがあるのであれば、図書の活用という方向性で、それは図書の活用が子供だったり、学校の図書館活動だったり、教育の場だったり、それから、高齢者だったりというところで、何か1つ項目として、どうしてもハード面ばかりが問題視されているような、ハード面は新しいもの云々よりも、既存の施設をどう活かすかということも大切だと思うので、中身に何か重点を置くような項目があったらいいのかなと思いました。

【田中会長】 これはどうまとめたらいいんですかね。

【石原生涯学習課長】 言葉で言ったものだと、こういうつもりで言ったんじゃないんだということになるので、ぜひ文面で、ここにこういうものをと残したものを送っていただけると、取り上げられるもの、取り上げられないものというのは出てくるとは思うんですけど、きちんと全て漏れなく検討した上で、こういう結論になったということが残せると思います。よろしくお願いします。

【田中会長】 じゃあ、これにご意見を…。

【鴨下委員】 せっかく意見を言いましたので、これを締め切る前に、もう一度図書館協議会を開いて意見をまとめるとかいうことは可能なんでしょうか。

行き当たりばつたりのことはできないとおっしゃるのかもしれませんが、これにもし反映するなら、個人の意見ではなく、ここでまとめた形で、こんなふうにと出していただけるといいかなと思うんですけど。それとも、もうそれは載せられないというのか、この辺がわからないんですが、すいません、勝手に言っ。

【田中会長】 多分、これの上位が社会教育委員会になっていて…。

【石田委員】 社会教育委員が連絡。

【田中会長】 ですから、ここでというよりは、社会教育委員会のところに上げてという格好になるんですか。

【石田委員】 そうしますと、次の社会教育委員の会議が1月13日なんです。

それで、重点プロジェクトは前回11月の会議で協議したんですが、私も個別の中に図書館が入っておりましたので、別立てに項目を分けるということは気がつきませんでした。1月13日にこういう意見がありましたということで報告することはできます。

ただ、そのときに皆さんの、今、鴨下さんがおっしゃったように、この会の意見として上申するんだと、会合を持たなきゃいけませんね。

【上石館長】 協議会は今日が年内最後です。先程言ったように、小金井市の第3次子ども読書活動推進計画のために、もう1回開かせていただくんだけれども、もう既に予算がオーバーしています。というのは、前期の方はご存じだと思うんですけど、今年も予算がついてございませんで、そこのところは予算を持ってこないと会議が開けないので、さらにもう1回というのは不可能です。

【石田委員】 (社会教育委員の会議の) 皆さんにこの場でこういう意見が出て、こうだということは13日の会議に報告いたします。

それに盛り込めるかどうか、皆さんの意見は重点プロジェクトとして、図書館として独立して入っては現状ありませんので、報告するだけしかできませんが、皆さんの今日の意見を報告するだけでよろしいでしょうか。

【田中会長】 今混乱しているとは思いますが、ご意見があるなら、とりあえず図書館に、こういう文章でこういうふうに掲載してもらいたい、というものを集約していただいて、それをまとめてもう1回皆さんに配信をして、作ったものを社会教育委員の会議こういう意見、口頭で言うのもなんでしょうから、こういうご意見がありましたというのを出したいと思うんですけども、よろしいですか。

年内ぐらいに、図書館の生涯学習推進計画についてこういうプロジェクトをしたほうがいいんじゃないか、というご意見がありましたら、あるいは、プロジェクトの中にこういう文章を入れたいとかいうのがありましたら、1回図書館に寄せていただいて、私が見ますので、それをまとめてもう一度皆さんのほうに戻すという格好にすれば、と。

【石田委員】 この会の意見として、13日の会議に提出できますので。

【田中会長】 そういうことでよろしいでしょうか。

【坂野委員】 それとは別に、意見書を個人として送る分には…。

【田中会長】 構わない。

【坂野委員】 先程生涯学習課長が、名前の後に図書館協議会委員だと書いてほしいということですので、そういう形でいけるのかなと思ったんです。

【石原生涯学習課長】 それは皆さんでまとめられるという機会がないのかなと思ったので、図書館協議会委員としての意見という形で重く受けとめようかなと思っていました。できるだけ図書館協議会としてまとめた意見にまとめていただけるということですので、その意見とは別に自分としてはこれだけ言いたいというものについては、図書館協議会ということは書かずに、市民の立場でご意見をお寄せいただければ結構かと思えます。

【吉田委員】 私も町田の生涯学習審議会の委員でございまして、社会教育委員もやっておりますので、なかなかそれは厳しいというのがよくわかります。

はっきり言うと、プロジェクトというのは横断型にやらなきゃいけない訳です。ここで

言うのもあれですけども、そうするとあれもこれも全部、つながらなきゃいけないんです。

ですから、その中で強調しなきゃいけないところは確かにあると思います。文化的拠点としての図書館のあり方というのは、はっきり言うと小金井が一番弱いところだと思います。その部分で学びを豊かにする環境づくりの最上位に図書館があるべきだろうと。それは図書館協議会の意見というか、私の意見でもありますけれども、おそらく皆さん、ここにいらっしゃる方は図書館のために集まっている訳ですから、こういうふうに考えられるのは普通だろうと思います。

つまり文化的拠点としての図書館のあり方というのが、もう少し小金井の中で明確に出てこない、11もあるプロジェクトのうちのばらばらに、どこかにあるような感じでは、なかなかこれは統合的に見るのが難しい。ですから、文化的な拠点としての図書館の位置づけみたいな形を、もう少し前面に出したほうがいいと思うというのが、おそらく皆さんのご意見だろうと。

それはどこに載せるのかなかなか難しいところですけども、多分一番の重点としては、学びを豊かにする環境づくりですね。だから1番の最初のところに、図書館というところをちゃんと入れていただくことが一番の願いではないか、ここら辺は多分個別のものではなく、合意形成として出せるのではないかと思うんですけども、そのあたりで石田委員はいかがお考えでしょうか。

【石田委員】　そういう意見として言うことはできますが、実現するというお約束はできません。ただ、私も図書館という、これがこの場で言うことにふさわしいかどうかわからないんですが、図書館を拠点として、皆さんに場を広げるということで、昨年科学の祭典で10月ぎりぎりだったんですが「理科読」といって、理科を読書につなげようということで、館長に協力いただきまして、ここで会議をし、科学の祭典でいろんなことを学んだものが図書館に行けば借りられるよ、そして、その科学の実験が図書館で勉強できるという運動を広げようということで、昨年急遽、9月の半ばに会議を持って、10月4日の科学の祭典に対する本を選んでいただきまして、科学の祭典の場で、それに関するブースが20出ていまして、この20ならばこういう実験が見られるよと、そしてその中の図書館の本をその会議で紹介していただいたんです。

館長にもお願いしまして、どこかで1年の計画の中に、科学の祭典で見た本が、このコーナーに行って、これなら見られるよという展示コーナー、何ていうんでしょう、そういうのをぜひどこかで作ってくださいと。そうすると、科学の祭典という1つのイベントが図書館につながって、図書館から子供たち、いろんな人につながって1つの輪をつくりたいと思っています。

ということで、その足がかりの1歩が昨年ちょっと小さく、館長も忙しい中で時間をとってくださって、それを推進している滝川洋二先生に入っただいて、足がかりが少しできたところです。ですから、重点プロジェクトにこれを載せられるかどうかはわかりませんが、少しずつ、そういう影の動きの努力を今、させていただいているので、また館長にお願いしますが、できる限り、意見としては言ってみます。

【田中会長】 学習推進計画の範囲について、先程言いましたけれども、ご意見がある方は、一度図書館に出していただくのもいいですし、直接出していただくのも構いませんので、それを取りまとめて社会教育のほうにお渡ししたいと思います。

吉田委員からは、これをこうひっくり返して、ここに入れるというのは、確かに、ここまできて大変なことだと思いますので、やはり項目を立てるといことが大変だとすれば、その重点プロジェクトの中のところで強調をしていただくような、図書館を作っていく、そういう考え方、方向でやっていきたいと。とりあえず意見がありましたら、出してください。この件に関しては以上でよろしいでしょうか。

【鴨下委員】 ありがとうございます。私もちょっと勉強させていただいて、意見は図書館に出すということですね。よろしく願いいたします。

【田中会長】 いや、直接でもいいですが。

【石原生涯学習課長】 でも、なるべく図書館協議会の中でまとめていただいて、協議会全体としてこういう意見だというものにしていただいたほうがいいかなと。

【上石館長】 そうしましたら事務局で、また集約をしてお戻りするみたいなことを何回かやるような形で。

【田中会長】 1回集めていただいて、年内に来ないとちょっと意見までというのは…。

【上石館長】 そうですね。

【田中会長】 1回ぐらいですか。

【上石館長】 そうですね。

【田中会長】 1回集めて、出してみても、それをまとめて皆さんに

【西村庶務係長】 いただく前に皆さんに締め切りですとか、スケジュールの確認をしまして、それで受けたものをまた見ていただくような形で。生涯学習課と締め切りについてはこちらで調整しますので、それも含めて皆さんにまず発信をします。

【田中会長】 わかりました。

【石田委員】 メールで結構ですので集約したものをください。

【西村庶務係長】 皆さんに同じようにやる形に。

【石田委員】 それを13日の社会教育委員の会議に発表したいと思いますので。

【西村庶務係長】 はい。

【田中会長】 では、この件、よろしくお願いします。

以上、報告事項は終わりなんですけれども、事務局から何か。

【上石館長】 石田委員が来られたので、委嘱状につきましてはまた後程としまして、自己紹介をお願いしたいと思います。

【石田委員】 すいません。昨年から、社会教育委員の会議からこちらに出席させていただいています。石田静子と申します。よろしくお願いいたします。

私、お抹茶をしております、今日は多摩市のカルチャーの茶会の日で、それは半年ぐらい前に決まっておりましたので、1時間くらい遅れました。すみません、初回から。でも、今日、顔合わせですので、何とかよろしくお願いいたします。

【田中会長】 そのほか何か。

【西村庶務係長】 一応、協議会の今後の日程ですが、先程館長から申し上げたとおり、1月の下旬ごろ、1回協議会の予定があります。それとは別に三者合同会議と言いまして、社会教育委員の方々、公民館運営協議会の方々、そして皆さん、図書館協議会委員の方々と、会合を持っていただくという機会がございます。それも1月の下旬から2月の中旬のあたりで調整させていただきたいと思っています。三者合同会議の日程については、本日、会長と職務代理の方が決まりましたので、各会の会長、副会長で日程を調整させていただいて、皆さんに候補日を発信させていただきます。その中で、申し訳ないですが、出席可能の方が多い日にちで調整させていただきますので、その辺はご了承いただきたいと思います。

また、1月の図書館協議会につきましては、また日程の候補日を皆さんに発信させていただいて、それも一応、図書館協議会は過半数出席で会議ができるとありますので、その人数を超えるような日程で調整させていただきたいと思います。会議については、年間で、来年はまだ予算がわからないですが、今年については、協議会としては3回、三者合同会議というのが1回の計4回の予算しかついておりません。来年もどうなるかわからないですが、そのような予算でいく関係で、年に4回程度の会議を予定しております。

その来年度の予算とは別に、皆さんには、先程申し上げたように2回、会議の予定がございます。場合によっては、1月の下旬から2月の頭ということで、その期間に2回ということですので、もしかしたら、皆さんお忙しいと思うので、同じ日というケースも、場合によっては、皆さんによっては1日で終わるほうがいい方もいらっしゃると思うので、その辺も含めて、調整させていただきたいと思います。

三者合同会議を1時間か1時間半ぐらいやりまして、その後、少し休憩を挟んで協議会という可能性もあるということで、1週間に別々に2回開催するよりは1日というほうが皆さんがよろしければ、それでも調整させていただきたいと思いますので、よろしくお

願います。

私からは以上です。

【田中会長】 会議開催は年4回ということで、何か春夏秋冬にやるのかなみたいな気がしますけれども、公民館とかは月1ということでやって、社会教育も月1でしたっけ。

【石田委員】 年10回です。

【田中会長】 10回。そういうことからいくと、年に4回ということで、毎月毎月顔を合わせてご意見を伺うということはできませんので、今の世の中ですからメールとかを使って上手に時間のないところで、うまくやっていきたいなと思います。

【西村庶務係長】 皆さんにメールの登録のご了承をいただきましたので、全て連絡等はメールでやらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上です。

【田中会長】 議題報告等は以上ですけれども、何かございますでしょうか。

【吉田委員】 次期の日程ですけれども、1月の下旬と2月の上旬という、かなり範囲が狭いんですけれども、2月25、26、27日、研究の関係で出かけます。こういう個別のものが少々ありますけれども、今の段階でわかっている場合は、少しそれできないんでしょうか。

【西村庶務係長】 なるべくその辺は調整させていただこうとは思っておりますが、皆さん方色々ご予約がありまして、今、吉田先生のお話は2月24、25、26日。

【吉田委員】 はい。そこはだめです。

【西村庶務係長】 わかりました。

【吉田委員】 2月は大体大学も終わってますので、もうそこが…。

【西村庶務係長】 メールで候補日等入れさせていただきますので、すいませんけど、そのときにも同じようにご返信いただければと。

【石田委員】 今日、教育長がいらっしゃる時間に私不在でしたが、この間、文庫サークル連絡会に山本教育長の話聞きに行っていました。

山本教育長が今年の夏から冬にかけて伊万里の図書館、それから、色々な図書館についてお話になりました。プロジェクターを使って1時間、色々な図書館について、そして結構よくまとまっているんです。教育長にまとまっているんですなんて言ったら叱られてしまいますが、どこかで時間があつたら、教育長にそれを1時間見せていただくのもいいかなということ、そのまとめた話をするというので、大変よかったです。ですから、どこかで機会がありましたらと。

【藤森委員】 今のお話ですけれども、前期もやはり、ほかの図書館を見学したいねという話がよく出ていましたけれども、時間とか予算の関係でありませんでしたので、教育

長のそういった、あればとてもいいのではないかと。

【石田委員】 よく写っていてまたちゃんとまとめて、説明も上手なので、やはり先生だから、とても良かったです。1時間が瞬く間に終わるという感じで。

【鴨下委員】 私、文庫連ですけど、主催者側です。とてもすてきなお話しでしたね。そしてそこに、先程の反応とか、色々出ていましたので、どこかへ、ここでも聞けるといいなと思います。いつもどこに図書館がつかれるかなと考えていらっしゃるって。私が話したことは言わないでと言われました。

【石田委員】 図書館は20億必要だろうと。そしてその、もとのいろんな協議会を始めるのは今ですよという。それで図書館をやっぴり新しくしたいと考えていらっしゃるんですけど、小金井市は予算がないでずっと積み重ねていったらいつまでたってもできない。言っていましたね、審議会みたいなものを作るのは今ですよおっしゃるから、じゃ、今作るためにはどうしたらいいんですかという質問をしたんです。そしたら、やっぱり昨年、答申が出た、あれが出た。そしてそれに対して答申をした。そういうことの積み重ねが基礎になるんですよと言っていましたので、図書館としての意見の上申、進言みたいなものが効いてくるというようなお話しでした。

【鴨下委員】 やはり図書館を活用する、育ってほしいという願いで、文庫連でも図書館についての勉強会をやるという計画をしたんです。その中で教育長が色々見てきたところの話をしてくださったんですけども、やはり今回の生涯学習の計画もそうなんですけど、やはり「作ろう」「はい」とできるものじゃないので、やっぱり一つ一つこうやって、図書館というものをいろんなところに位置づけて、計画を立てて、10年後の小金井の図書館の未来像みたいなのも考えて着実にやっていけたらいいなと思うので、そういう勉強会がいろんなところでやられる場合は紹介していただくとうれしいかなと思います。

【坂野委員】 ほかの図書館を周るという点で、小金井市の図書館協議会委員だというような個人的な資格で、小金井市の図書館協議会の委員ですという立場で出向いて行って聞く方法はないんでしょうか。

予算の関係がありますので、交通費とか自分で出しますので、ほかの図書館に聞きに行く、国会図書館の書庫に入ったこともありますし、国連大学も見たことあるんですけども、さらに意見を聞こうと思ったら、いわゆる一般の利用者の立場で聞きにくいんですが。

【鴨下委員】 説明してくれますよね、ちゃんと。

【坂野委員】 正面切って、図書館の人に正式に会って聞こうという手だてはないのでしょうか。非常に楽になると思うのですが。

【田中会長】 中里さん、どうですか。

【中里委員】 それは行政的な話に関わってくるのではないかと思います。図書館協議

会の委員の身分がそこまでの権限を委託、委譲されているとは思えないです。各市町村、都道府県、全部、国も含めて、そういうような方がそれぞれ図書館協議会委員という名刺を持って、質問に上がったら、それはもう国会図書館など本来の業務がちょっと危ういといえますか、それは情報の開示をセーブしているということではないと思います。

個人的に質問するということでしたらまた別ですけども、協議会として、それを聞くというのは私達の総意でもないですし、この協議会の会則を見てもそういうことはうたっていないのではないのでしょうか。

【坂野委員】 そうしたらルールがそうであれば、ルールがどうであるかというのを確認したくて、せっかく個人で動けるのに動かないで情報が少ないまま判断してしまうのは議論が進まないような気がします。

【中里委員】 例えばレファレンスであれ何であれ、図書館協議会というものを持っていかなくも、して下さる回答はして下さるし、できないものはできないかと思います。

【坂野委員】 やはり同じ図書館のことを考えている者として接しますと、電子図書であれ、それから書庫の管理の仕方であれ、接する方も違うように接していただけるというのは、これは事実だと思います。一般の者ですけども、というふうに窓口としては聞けないのでは違うのではなからうかと。思うだけで、私も知りませんし、直接的な権限は知りませんが、少々お考えいただければと思います。

【田中会長】 ちょっと今のは、図書館協議会委員としての権限とかということに関していえば、規約書というか法律に従ってやるしかないと思うんですよね。その肩書を持って図書館に行って質問をするというのは、やっぱりそれは、多分一般的なお答えしか出てこないんじゃないかなと。いくら肩書を持っていても、やっぱりできないものはできませんみたいな。ただ、みんなで行って聞くとすると、またちょっと対応が違うような気がいたします。

【上石館長】 こここのところ視察が、予算を取りながらも未執行であったりとか、行政の都合でもありましたけれども、いろんな諮問を13期委員にはさせていただいたので、視察をできていないんです。ですので、来年度、まだわからないですけども、予算がとれたらば、ぜひ協議会として、どこか視察に行きたいなと思っていますところなんです。

ただ、こればかりは予算が全体的に見てつくものなので、要求は毎年しているんですけど、前期の方はこちらの都合で視察に行けていない、ということがありますので、今期14期の方は、早いうちのほうがいいと。いろんなところを見てきて、図書館の計画を作るとか、教育長も先程挨拶の中で言っていましたけど、やはり新しい図書館、ここを本館と言っていますけど、新中央館のこともありますけど、そういったことを議論していく中では、やはりどこか視察に皆さんと一緒に行って、情報共有して、勉強してということは

必要かと思っています。

ただ、今の坂野委員の個人でというところにつきましては、私達で、少々研究させていただいて、ほかの審議会等もちょっと聞いてみてということで預からせていただきたいと思います。

【坂野委員】 最後に確認ですけれども、立場ですが、今、田中会長がおっしゃった、肩書を外に向かって使ってはいけない、それとも、公務員って、みなし公務員とか、そういうふうな立場、同等な訳じゃない…。

【坂野委員】 あくまでも…。

【石原生涯学習課長】 非常勤特別職の公務員。

【坂野委員】 みなし公務員になる。

【石原生涯学習課長】 いや、正式な公務員ですね、非常勤の。

【坂野委員】 公務員なんですか。

【石原生涯学習課長】 はい。条例で協議会が設置されているので。

【坂野委員】 わかりました。

【石原生涯学習課長】 守秘義務とかも一応。

【坂野委員】 公務員だと思って活動するということですね。了解しました。じゃ、肩書は…。

【石原生涯学習課長】 ただ、この会議に出てきていただくことが公務なので、それ以外のときは公務員の身分というものはないというのが普通の考え方かなと。

【坂野委員】 一般的にそうだと思うんです。公務員一般。ただ立場、公務員ですかどうですかと、公務員だということですね。

【石原生涯学習課長】 そういう身分が法令上あると。

【坂野委員】 了解しました。無理に名刺とかに入れるつもりはないんですけども、自分の立場を言うときに、図書館にこういうふうに関わっていますよ、というのを言ったほうがいいと思う時は自分で感じていますので、それはちょっと言っているんなお話を伺うことあるかなと思いますけど。

【田中会長】 今のはよくわからないんですけども、どういう立場で何を確認されるかという、ちょっとわかりかねたんですけども。何かそれを使って何かをする、先程おっしゃったように、ここに来て会議をして、2時間の公務をするということが図書館協議会委員としての、ここに書かれてある職務を遂行するというのが協議会委員としての務めだと思っと思うんですが。

【坂野委員】 情報を集めるというレベルの個人的なものです。活動しているということで、そのときに何も、皆さんの立場、逆に言ったら、わからない人が来て、図書館協議

会、何かしますかということよりも、いや、隣の市の図書館協議会、委員会でございますと、メンバーですと言って話すときの立場、話し方が違ってくると思うんです。そのことを言っています。

【田中会長】 一応、この委嘱状を受けたので図書館協議委員ですというのは結構だと。ほかに何かなければ、会議を閉じたいと思います。

では、次回は1月下旬ということで連絡させていただきます。

会議を閉じます。ありがとうございました。

— 了 —